

令和元年度 夏季自立活動研修会

肢体不自由のある児童生徒の身体の基本について

～姿勢ケアと支援の方法～

佐々木塾代表 佐々木昭先生

教育研究部では夏休みに自立活動研修会を行いました。肢体不自由のある児童生徒の実態把握や、それに基づいた指導にかかわる支援について研修し、自立活動の指導内容・指導方法について教職員の専門性の向上を図っています。

講義

児童生徒の実態把握のためには、たくさんの大切な情報を集め判断していくことや実際の介助や介護場面での留意点などについて研修しました。また、診断名から得られる情報が色々あることなど、PTの視点からのお話もありました。

実技研修

仰臥位からの座位、そして車椅子への移乗、車椅子からトイレなど、具体的な場面をイメージして安全な支援の仕方について体験しました。支援者の手や足の位置・声のかけ方・抱えるタイミング・車椅子の位置など、たくさんのポイントがあることを意識することができました。

研修後の教職員アンケートより

- ・介助をする上で子どもも支援者も安全にできる介助の仕方をわかりやすく教えていただき、今後の実践に生かしていきたいと思いました。
- ・最後の佐々木先生のまとめが心に残りました。身体と心を守ること。今、成果ばかり言われてしまいましたが、「すぐには成果はでない」「私たちの意図するところ」を心にとめて日々の取り組みに生かしていきたいと思いました。

